

科目	心理社会健康支援学特論	担当	竹田徳則	講義形態	講義
				開講期間	後期
時間数:180分×7回・90分×1(隔週1回)		キャンパス(名古屋)		単位数	2単位
【授業目標・到達目標】					
<p>本科目では、高齢社会の現状を踏まえつつ人間の健康と心理社会生活の各側面との関連、高齢者の健康寿命延伸に向けた厚生労働省の政策動向を踏まえた介護予防支援について、特に認知症やうつ、閉じこもり、虚弱等を中心に取り上げる。また、地域環境のありようと健康にも言及し、生物医学的側面を超えた心理社会面と健康との関連を修得する。</p>					
【履修注意】					
<p>本講義は、1・2限連続講義で行うため15回を8日で実施する。なお、受講者自身が関心を持つ科目関連内容についてプレゼンテーションを行う。実施回数は受講者数確認後、初回講義時に伝える。</p>					
【評価方法】					
<p>講義中のディスカッション、プレゼンテーション、レポートを総合して評定する。</p>					
【教科書】					
<p>特に指定なし 資料配布</p>					
【参考書・文献】					
<p>書籍名:検証健康格差社会－介護予防に向けた社会疫学の大規模 編者:近藤克則 出版社 医学書院 書籍名:認知症の作業療法 第2版 編者:小川敬之・竹田徳則 出版社 医歯薬出版</p>					
【講義計画・内容】					
回数	講義 日数	項目(担当)	内容	遠隔	
1	①	健康のための行動	認知プロセス 行動選択 行動プロセス	○	
2		健康のための行動	生き抜く力 内的資源 外的資源	○	
3	②	健康のための行動	ストレス対処能力 社会的サポート	○	
4		健康と地域のありよう	ソーシャル・キャピタル 社会的因子 環境因子	○	
5	③	健康と地域のありよう	ソーシャル・キャピタル 社会的因子 環境因子	○	
6		介護予防施策	介護予防・政策動向	○	
7	④	介護予防施策	介護予防・政策動向・介入策	○	
8		介護予防施策	認知症・うつ・閉じこもり・社会参加	○	
9	⑤	認知症予防	疫学・認知症発症心理社会危険因子・保護因子	○	
10		認知症予防	疫学・認知症発症心理社会危険因子・保護因子	○	
11	⑥	うつ・閉じこもり予防	疫学・うつ・閉じこもり心理社会危険因子・保護因子	○	
12		うつ・閉じこもり予防	疫学・うつ・閉じこもり危険因子・保護因子	○	
13	⑦	介護予防実践事例	先駆的取り組み・グッドプラクティス・課題	○	
14		介護予防実践事例	先駆的取り組み・グッドプラクティス・課題	○	
15	⑧	まとめ	まとめ	○	